



十六銀行のCSR

地域経済のために



「岐阜大学×十六銀行×NEXCO中日本 地域商材発掘プロジェクト」の取組みが内閣府より表彰受賞

2018年2月、当行と岐阜大学、NEXCO中日本との連携事業である「岐阜大学×十六銀行×NEXCO中日本 地域商材発掘プロジェクト」の取組みが、内閣府から、2017年度「地方創生に資する金融機関等の「特徴的な取組事例」」として表彰されました。当プロジェクトでは、商談会を通じて地域性の高い商材を発掘し、高速道路のサービスエリアを利用する消費者への販路を開拓する機会を創出しました。さらに、単に商談会を開催するのみではなく、商談会参加事業者への事前フォローとして、大学生と事業者とのワークショップを開催し、若者の意見を取り入れて商品の企画や提案方法をブラッシュアップす

る場を設けました。

当行では今後もこうした取組みを実施することにより、引き続き、地方創生に貢献していきます。

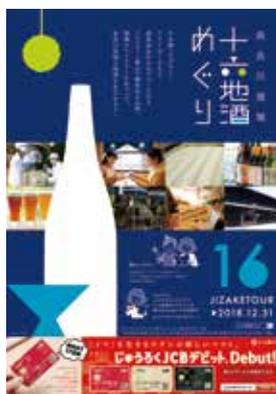


「長良川流域 十六地酒めぐり」への協力

当行は、2018年6月より、NPO法人ORGANが主催する観光キャンペーン「長良川流域 十六地酒めぐり」に協力しています。

岐阜県は全国有数の酒処であり、県内共通の観光資源である「地酒」を活用したキャンペーンを実施するものです。

2018年12月31日までの期間中、長良川流域に存在する酒蔵・ワイナリー等16ヶ所の対象店舗を訪問し、当行の店頭等で配布される「地酒マップ」や、「じゅうろくJCBデビット」を呈示すると、特



典の提供が受けられます。

当行とNPO法人ORGANは、当キャンペーンを通じて県内観光資源の魅力を発信するとともに、交流人口・域内消費額の拡大を目指します。

十六総合研究所 「飛騨国サテライト」を新設

2017年9月、当行のシンクタンクである十六総合研究所は、高山市が開設した「飛騨高山お試しサテライトオフィス」に入所し、主任研究員1名を配置しました。飛騨地域は観光産業で世界的に注目される一方で、人口減少が比較的早く進む課題先進地域であり、飛騨から見える地方の課題を捉え、今後の調査分析や地方創生への提言に生かしてまいります。



2017年12月「人手不足対策セミナー@高山」を開催

2018年3月、書籍「地域のチカラ 16seeds story」を発行

地域の魅力を美しい数々の写真とともに紹介。北川悦史子氏など岐阜県・愛知県出身の著名な方々のエッセイも掲載しています。



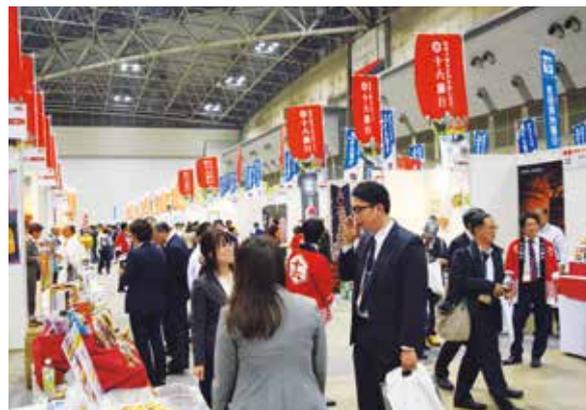
「地方銀行 フードセレクション2017」 の開催

2017年11月、当行を含む地方銀行55行とリッキービジネスソリューション(株)が「地方銀行フードセレクション2017」を開催しました。

こだわりの逸品や地元特産品を取り扱う食品関連事業者の全国に向けた販路拡大支援を目的に開催したもので、出展社数は過去最高の831社と大盛況の商談会となりました。

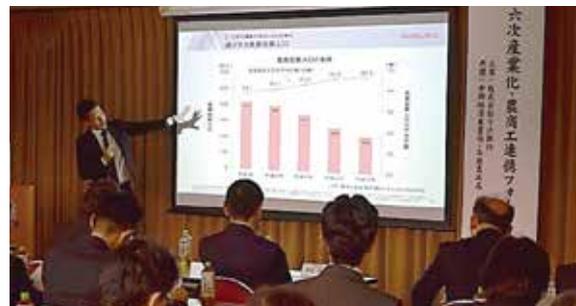
当行からの出展社は、平均名刺交換枚数が101枚と多くのバイヤーと商談することができ、総じて高い満足度を得られました。

今後も、このような取組みにより、地域の食品産業の発展をサポートしてまいります。



「六次産業化・ 農商工連携フォーラム」の開催

2017年12月、中部経済産業局・北陸農政局・東海農政局との共催により、名古屋銀行協会にてじゅうろく地方創生「六次産業化・農商工連携フォーラム」を開催しました。当行は中小企業庁の施策である「農商工連携促進事業」を中部地区唯一の広域実地施機関として受託しており、その事業の一環として、フォーラムの開催を行いました。当行は、農商工連携促進事業に引き続き真摯に取り組む、農業者の新たな所得や雇用を創出し、地域経済の活性化に資する活動を行ってまいります。



～地方創生への取組み～

各自治体、商工会議所・商工会と連携協定を締結

当行は、金融機関の特性や強みを活かした官民連携を強化することにより、更なる地域経済活性化の実効性を高める取組みを行ってまいります。

2018年3月末現在の連携協定数は、自治体29先、商工会議所・商工会26先となり、様々な地域課題に対して相互に連携協力することで、地域の活性化に貢献していきます。



「NOBUNAGA 21 地域経済活性化セミナー」の開催

2018年3月、ベンチャー企業、起業家の発掘・育成を通じ、地域経済活性化・発展に貢献することを目的として開催しました。

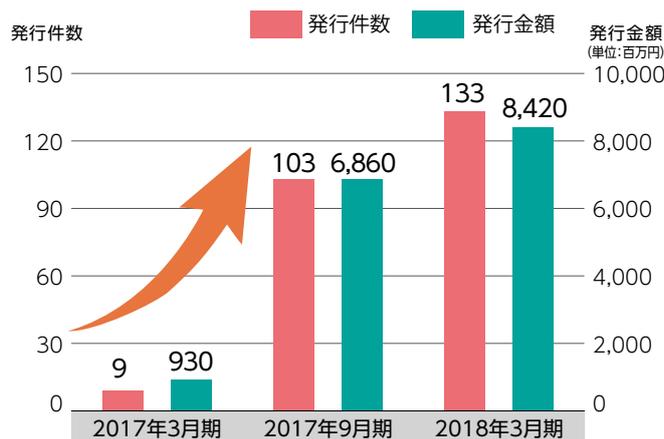
本セミナーでは創業者向け助成金「NOBUNAGA ファーストステージ」と新規事業向け「ニュービジネスプラン助成金」の授賞式を開催しました。また、株式会社岐阜造園代表取締役社長小栗達弘氏を講師に迎え、講演を行いました。



じゅうろくCSR私募債「つながるころ」について

じゅうろくCSR私募債「つながるころ」については、2017年1月の取扱開始以降、2018年3月までの1年3ヶ月間で累計245件（発行累計額162億円）の引き受けを行いました。

この私募債は、当行が発行企業さまから受け取る手数料の一部（発行金額の0.2%相当額）を地域の学校等に発行企業さまと連名で物品や金銭を寄贈し、地域社会を応援する仕組みとなっています。今後も、じゅうろくCSR私募債「つながるころ」の取扱いを通じて、より一層地域貢献に努めていきます。



スマートフォン決済アプリ 「JUROKU PayB」

2017年11月、スマートフォン決済アプリ「JUROKU PayB」(じゅうろくペイビー)の取扱いを開始しました。当行に口座をお持ちのお客さまは、スマートフォンでアプリを起動し、公共料金や通信販売などのPayB加盟店が発行する払込票のバーコードをスキャンするだけで、いつでも、どこでも、かんたんに料金を支払うことができます。



① JUROKU PayBアプリ起動
払込票のバーコードスキャン



② 支払情報確認



③ 暗証番号入力



④ 支払完了!



口座開設アプリ

2018年3月、運転免許証とスマートフォンがあれば、時間も場所も気にすることなく、普通預金口座が申込みできるスマートフォンアプリ「口座開設アプリ」の取扱いを開始しました。

「口座開設アプリ」は、スマートフォンで運転免許証を撮影し、お客さま情報を入力・送信することで、書類をやりとりすることなく普通預金口座の申込みが完了します。また、個人インターネットバンキング「Jダイレクト」や「じゅうろくJCBデビット」といった便

利なサービスも普通預金口座と同時に申し込むことができます。



じゅうろくJCBデビット

2018年4月、じゅうろくJCBデビットの取扱いを開始しました。

じゅうろくJCBデビットは、国内外のお店やネットショッピングでの決済でご利用いただけるカードで、口座から即時引落としされるのが特徴です。当行では、じゅうろくJCBデビットを幅広いお客さまにご利用いただくことで、キャッシュレス社会の進展に対応していきます。



地域の皆さまとのお取引状況

(2018年3月31日現在)

地域の皆さまへの貸出の状況

貸出金残高に占める岐阜・愛知県内での貸出金残高割合88.6%、貸出先数に占める岐阜・愛知県内での貸出先数割合は99.4%です。今後も引き続き、地域経済の発展に貢献できる金融機関を目指します。



岐阜・愛知県内での貸出金残高割合
(岐阜・愛知県内での貸出金残高/貸出金残高)
貸出金残高
4兆2,335億円



岐阜・愛知県内での貸出先数割合
(岐阜・愛知県内での貸出先数/貸出先数)
貸出先数
162,339先



未来を拓く
RELIABLE BANK!

次世代の金融グループとして

十六銀行は進化し続けます。

個人に対する貸出の状況



岐阜・愛知県内での個人向け貸出金残高割合
(岐阜・愛知県内での個人向け貸出金残高/個人向け貸出金残高)
個人向け貸出金残高
1兆5,381億円



岐阜・愛知県内での個人向け貸出先数割合
(岐阜・愛知県内での個人向け貸出先数/個人向け貸出先数)
個人向け貸出先数
136,304先

地域の皆さまからのお預入れの状況

2018年3月31日時点での預金等残高5兆5,237億円のうち、岐阜・愛知県内での預金等残高は5兆4,836億円、99.2%を占めています。



岐阜・愛知県内での預金等残高割合
(岐阜・愛知県内での預金等残高/預金等残高)
預金等残高
5兆5,237億円
※預金等には譲渡性預金を含みます。

中小企業等に対する貸出の状況

貸出金残高に占める中小企業等への貸出金残高割合は77.0% (3兆2,638億円) です。



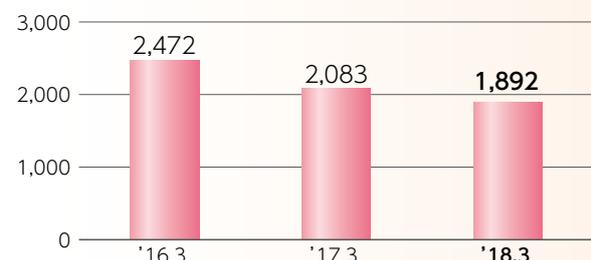
岐阜・愛知県内での中小企業等貸出金残高割合
(岐阜・愛知県内での中小企業等貸出金残高/中小企業等貸出金残高)
中小企業等貸出金残高
3兆2,638億円



岐阜・愛知県内での中小企業等貸出先数割合
(岐阜・愛知県内での中小企業等貸出先数/中小企業等貸出先数)
中小企業等貸出先数
161,762先

信用保証協会保証債務残高

信用保証協会保証債務残高 (単位:億円)

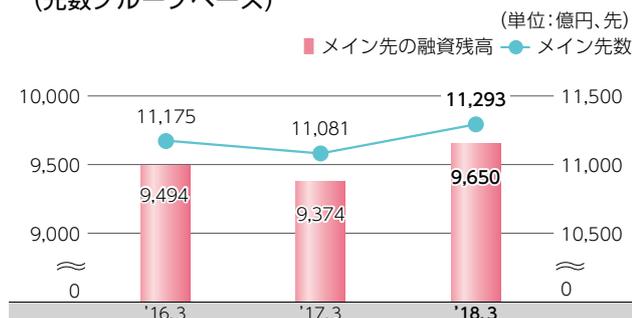


金融仲介機能のベンチマーク

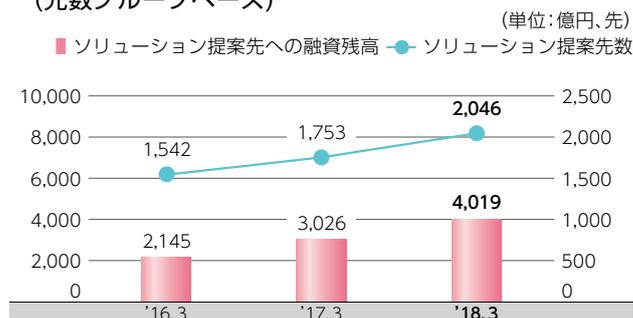
2016年9月に金融庁より「金融仲介機能のベンチマーク」が公表されました。「金融仲介機能のベンチマーク」とは、金融機関による地域経済への金融仲介機能の発揮状況を評価するための指標です。

当行は地域密着型金融を推進していくうえで、その取組みが有効に機能しているかを「金融仲介機能のベンチマーク」を活用して評価し、より良質な金融仲介機能の提供に努めてまいります。

● 当行がメインバンクとして取引を行っているメイン先数およびメイン先への融資残高(先数グループベース)



● ソリューション提案先数およびソリューション提案先への融資残高(先数グループベース)



ソリューション提案とは、取引先の売上向上や製品開発等企業価値向上に資する支援、財務的支援、経営計画策定支援、創業支援、販路開拓支援、事業承継支援およびM&A支援を指します。

● 当行が貸付条件の変更を行っている中小企業の経営改善計画の進捗状況(先数グループベース)

	条件変更総数	好調先	順調先	不調先
'16.3	4,953先	237先	249先	4,467先
'17.3	4,550先	167先	196先	4,187先
'18.3	4,039先	139先	167先	3,733先

● 支援内容別創業支援(先数単体ベース)

	創業計画の策定支援	創業期の取引先へのプロパー融資	創業期の取引先への信用保証付き融資	政府系金融機関や創業支援機関の紹介	ベンチャー企業への助成金・融資・投資
'16.3	45先	345先	250先	12先	35先
'17.3	29先	345先	183先	15先	38先
'18.3	20先	445先	255先	13先	32先

● 地元・地元外別販路開拓支援を行った先数(先数単体ベース)

	地元	地元外
'16.3	99先	73先
'17.3	218先	136先
'18.3	176先	157先

● M&A支援先数(先数単体ベース)



● 地域経済活性化支援機構(REVIC)、中小企業再生支援協議会の利用先数(先数単体ベース)

	REVIC	中小企業再生支援協議会
'16.3	3先	8先
'17.3	1先	6先
'18.3	0先	3先

地域社会のために

卓球部の活躍

～地域の皆さまに愛されるチーム作りを目指して～

当行卓球部は1980年創部以来、皆さまの温かいご支援のもと地道な努力を重ね、日本卓球リーグ実業団連盟に加盟し、女子1部チームとして活躍しています。

2018年4月に開催された「日本卓球リーグ・ビッグトーナメント」で松澤菜里奈選手がシングルスで優勝、2018年6月に開催された「前期日本卓球リーグ」で全勝優勝するなど、好成績を収めました。競技活動と併せて、地域主催の卓球教室などに積極的に参加し、卓球競技の普及・レベル向上にも努めています。



公益財団法人十六地域振興財団による 地域貢献活動

「クララザールじゅうろく音楽堂」は開館3年目となりました。2017年度は当財団主催によるコンサートを5回開催、2018年3月にはクララザールにゆかりのある世界的なピアニスト、上原彩子さんのコンサートを開催しました。また音楽堂ホールの貸し出しも40組を超えるご利用をいただきました。これからも芸術・文化をとおして、地域のみなさまのご期待にお応えしていきます。



「じゅうろく プロムナードコンサート2017」の開催

2017年11月、地域の皆さまに芸術・文化に触れていただく機会を提供することを目的として、長良川国際会議場にて開催しました。21回目となる本コンサートには、応募総数約2,500通の中から500組1,000名さまをご招待し、東海地区を代表するオーケストラ「名古屋フィルハーモニー交響楽団」と、指揮者 広上 淳一 氏、ヴァイオリニストに 南 紫音 氏を迎え、迫力ある演奏をお楽しみいただきました。



創立140周年記念エントランス装飾



「全国エンタメまつり (通称ぜんため)」への協力 (全国初開催)

2017年8月5日と6日の2日間に亘って、岐阜市・柳ヶ瀬とその周辺において開催された「全国エンタメまつり(通称ぜんため)」に対し、当行はメインスポンサーとして協力・協賛を行いました。

日本を代表する有名ゲームメーカーなど約40社が参加し、コアなファンはもちろんのこと、一般の方でも楽しめるイベントとして、新作ゲームの試遊・対戦ゲーム大会・グッズ販売などが催されました。このような規模のイベントとしては地方初の試みとなるなか、柳ヶ瀬周辺は若者であふれ開催2日間の来場者は約2万5千人を数えるなど、大変な賑わいとなりました。

当行は今後も、地域金融機関として“まちづくり”ひいては地域活性化に資する取組みを続けていきます。



「ぎふ清流ハーフマラソン」で 市民ランナーの皆さまを 応援しました!

2018年4月に開催された「第8回高橋尚子杯ぎふ清流ハーフマラソン」で、当行行員およびその家族が、沿道からランナーの皆さまに声援を送りました。

また、県立岐阜商業高等学校の皆さんとは、公式応援スポットでの水の提供や、生徒の皆さんが地元パン店と共同開発した黒糖フルーツパンケーキを提供しました。岐阜メモリアルセンターの芝生広場では共同ブースを出店し、ラスクや緑茶の販売等を行い、多くの方にお立寄りいただきました。



「エコがつながる種まきプロジェクト」 《環境保全活動》の展開

当行は、岐阜大学、岐阜市地球温暖化対策推進委員会と連携して、2014年5月より「エコがつながる種まきプロジェクト」を展開してきました。今年度は、昨年度にお客さまが咲かせて採取したあさがおの約40,000粒の種をお送りいただき、これを岐阜市内の37店舗で配布するとともに、岐阜市内の小中学校や特別支援学校にご協力いただき、各校へあさがおの種を配布しました。

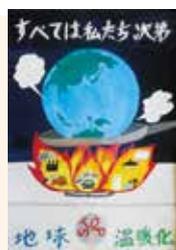
エコ活動啓発ポスターコンクール

エコ活動で、地球環境を守りましょう!

岐阜大学教育学部附属小中学校のみんなが描いてくれた素敵なポスターを載せてエコ活動への参加を呼びかけました!



小学生の部 金賞受賞作品



中学生の部 金賞受賞作品

環境方針

基本理念

十六銀行グループは、環境保全への取組みを社会全体で果たすべき責務であると認識し、地域社会に奉仕する良き企業市民の責任として、事業活動を通じて環境問題に誠実に取り組むことで、持続可能な社会の形成に貢献するとともに企業価値の創造につなげます。

行動指針

- 1 環境関連の法律、規則、協定等を遵守します。
- 2 環境保全への取組みは経営課題のひとつであると認識し、活動の情報開示に努めます。
- 3 自らの企業活動による環境への影響を正しく捉え、省エネルギー・省資源等の環境負荷の軽減に努めます。
- 4 環境に配慮した金融商品・サービスの開発・提供を通じ、お客さまの環境保全の取組みを支援します。
- 5 長期的な視野に立ち、幅広く社会と連携・協力し社会貢献活動を推進します。
- 6 役職員一人ひとりの環境意識の向上をはかるため、啓発・教育を行います。